2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　中央魚類株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8030　URL https://www.chuogyorui.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 松本　孝志
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員管理本部本部長　(氏名) 市山　勝一　TEL 03-6633-3000

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	78,813	2.4	1,617	△12.0	1,925	△7.8	1,166	△3.9
2026年3月期中間期	76,996	5.5	1,837	△11.6	2,087	△7.0	1,214	△15.6

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　3,241百万円　(17.9%)　2026年3月期中間期　2,750百万円　(133.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	291.68	―
2026年3月期中間期	304.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	88,316	41,210	44.6
2026年3月期	83,121	38,488	44.1

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　39,380百万円　2026年3月期　36,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	―	―	120.00	120.00
2027年3月期	―	―			
2027年3月期(予想)			―	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	0.3	3,000	△8.3	3,300	△11.9	2,200	△25.2	550.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料P．7「2．中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	4,315,300 株	2026年3月期	4,315,300 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	312,441 株	2026年3月期	321,100 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	3,998,538 株	2026年3月期中間期	3,994,254 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（中間連結損益計算書） …… 5
（中間連結包括利益計算書） …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やＡＩ関連需要の拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や物価上昇の継続、日本銀行の追加利上げによる金利上昇や円安の進行に加え、米国の通商政策や自然災害の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業では、単価高や取扱数量の増加に加え、量販店及び業務筋向けの販売が堅調に推移し、売上高は増加しました。冷蔵倉庫事業では、保管料等の改定などにより増収となりました。一方、原材料の高騰などにより売上総利益率の低下、販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期を下回りました。

その結果、当社グループの売上高は78,813百万円（前年同期比2.4%増）となり、営業利益は1,617百万円（前年同期比12.0%減）、経常利益は1,925百万円（前年同期比7.8%減）となりました。以上により、親会社株主に帰属する中間純利益は1,166百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当中間連結会計期間においては、単価高や取扱数量の増加とともに量販店及び業務筋向けの販売が堅調に推移した結果、売上高は74,057百万円（前年同期比2.3%増）となりました。一方、原材料の高騰や販売費及び一般管理費の増加などにより、セグメント利益は673百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当中間連結会計期間においては、保管料等の改定などにより、売上高は4,083百万円（前年同期比3.6%増）となりました。売上原価は増加しましたが費用の減少により、セグメント利益は618百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

当中間連結会計期間においては、売上高は342百万円（前年同期比4.7%減）となり、セグメント利益は316百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

(荷役事業)

当中間連結会計期間においては、運送業務の増加などにより、売上高は330百万円（前年同期比10.4%増）となりました。一方、人件費や減価償却費の増加などにより、セグメント利益は12百万円（前年同期比53.6%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,195百万円増加し、88,316百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2,910百万円、商品及び製品が1,654百万円、売掛金が1,479百万円増加した一方、現金及び預金が430百万円減少したことによるものです。

（負債）

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ2,472百万円増加し、47,106百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が921百万円、支払手形及び買掛金が2,343百万円増加した一方、長期借入金が790百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,722百万円増加し、41,210百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1,994百万円増加し、親会社株主に帰属する中間純利益1,166百万円を計上した一方、剰余金の配当により479百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は44.6%（前連結会計年度末44.1%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2026年５月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,406	6,975
売掛金	13,236	14,715
商品及び製品	14,482	16,137
原材料及び貯蔵品	57	66
その他	508	461
貸倒引当金	△342	△396
流動資産合計	35,349	37,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,442	17,141
機械装置及び運搬具（純額）	1,623	1,698
土地	6,218	6,377
リース資産（純額）	1,106	1,015
その他（純額）	191	184
建設仮勘定	391	280
有形固定資産合計	26,972	26,698
無形固定資産		
借地権	2,516	2,516
その他	1,100	968
無形固定資産合計	3,617	3,485
投資その他の資産		
投資有価証券	15,560	18,470
長期貸付金	21	16
差入保証金	291	325
繰延税金資産	545	543
退職給付に係る資産	703	752
その他	158	146
貸倒引当金	△99	△82
投資その他の資産合計	17,181	20,172
固定資産合計	47,772	50,356
資産合計	83,121	88,316

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,228	13,572
短期借入金	9,075	9,150
１年内返済予定の長期借入金	1,975	1,914
未払金	262	220
未払法人税等	694	724
賞与引当金	423	409
役員賞与引当金	25	―
修繕引当金	30	30
その他	2,251	2,395
流動負債合計	25,966	28,416
固定負債		
長期借入金	11,631	10,840
長期未払金	91	67
繰延税金負債	3,810	4,731
役員退職慰労引当金	12	12
退職給付に係る負債	1,570	1,591
その他	1,551	1,446
固定負債合計	18,667	18,690
負債合計	44,633	47,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	18	29
利益剰余金	25,473	26,160
自己株式	△701	△682
株主資本合計	27,785	28,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,763	10,758
退職給付に係る調整累計額	94	119
その他の包括利益累計額合計	8,858	10,878
非支配株主持分	1,844	1,829
純資産合計	38,488	41,210
負債純資産合計	83,121	88,316

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	76,996	78,813
売上原価	69,366	71,205
売上総利益	7,630	7,607
販売費及び一般管理費	5,792	5,989
営業利益	1,837	1,617
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	262	299
持分法による投資利益	6	5
その他	68	125
営業外収益合計	338	432
営業外費用		
支払利息	78	103
その他	9	21
営業外費用合計	88	125
経常利益	2,087	1,925
特別利益		
投資有価証券売却益	12	－
特別利益合計	12	－
特別損失		
固定資産除却損	27	15
減損損失	9	－
商品廃棄損	11	－
投資有価証券評価損	－	0
特別損失合計	47	15
税金等調整前中間純利益	2,052	1,909
法人税等	778	687
中間純利益	1,273	1,221
非支配株主に帰属する中間純利益	59	54
親会社株主に帰属する中間純利益	1,214	1,166

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,273	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,475	1,994
退職給付に係る調整額	0	25
その他の包括利益合計	1,476	2,019
中間包括利益	2,750	3,241
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,690	3,186
非支配株主に係る中間包括利益	59	54

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額(注)1	中間連結損益計算書計上額(注)2
	水産物卸売事業	冷蔵倉庫事業	不動産賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	72,397	3,940	359	299	76,996	－	76,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	203	160	170	551	△551	－
計	72,414	4,144	519	470	77,548	△551	76,996
セグメント利益	1,064	446	299	26	1,836	1	1,837

(注) 1.セグメント利益の調整額１百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。
2.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「水産物卸売事業」セグメントにおいて、９百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額(注)1	中間連結損益計算書計上額(注)2
	水産物卸売事業	冷蔵倉庫事業	不動産賃貸事業	荷役事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,057	4,083	342	330	78,813	－	78,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	257	180	141	597	△597	－
計	74,075	4,340	522	471	79,410	△597	78,813
セグメント利益	673	618	316	12	1,620	△2	1,617

(注) 1.セグメント利益の調整額△２百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。
2.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。